

2018.06

担当：松本純、立山

初めての観察実習！

1年生が初めての実習に行ってきました！

こども学科は5月18日、幼児教育学科は5月24日に、それぞれ附属園のおおくらの森幼稚園・保育園と長洲しおかぜこども園で行いました。

初めての実習はとても緊張もしたと思います。しかし、こども達の笑顔や元気な姿を見て、やりがいも感じたはずです。この最初の実習の時の気持ちを忘れず、3年間・4年間頑張ってください。



こども学科1年生 「実習を終えての感想」より一部抜粋

今回の観察実習で改めて子どものことを今よりもっと好きになりました。

この実習で私は3つのことを学びました。

1つ目は、「子どもたちとの間に壁を作らない」ことです。子どもは素直な部分があるので、最初に壁を作ってしまうとどうしても入り込みにくくなることを改めて知りました。

2つ目は、「子どもが泣いた時の対応の仕方」です。泣いている子どものことばかりだけ考えるのではなく、もう一方の子どもを気持ちを考えてあげなくてはいけないこと、子どもたちの間で何が起きたのかを理解することを知りました。

3つ目は、「良い事と悪い事の判断をすること」です。子どもたちは興奮すると良い事と悪い事の判断ができなくなります。なので、きちんと悪い事をしたら注意することが必要だと感じました。

今回の観察実習は、全力で子どもと楽しむことができ、自分のことを積極的に出すことができたので、とてもいい経験になりました。

